

科目名	卒業制作							年度	2025
英語科目名	Graduation production							学期	後期
学科・学年	声優・演劇科 2年次	必／選	必	時間数	120	単位数	4	種別※	実習+実技
担当教員	轟田俊哉、千田恵子		教員の実務経験			実務経験の職種		演出家	
【科目の目的】									
卒業公演は基本的にダブルキャストで行うため、A班、B班にチームを分けて行う。2年間の集大成である卒業公演に向けて、基本的には今まで学んだことを活かし自ら気がついていく授業にしていきたい。演出と学生達が考えた表現を融合し、作品の面白さを追求していく。授業は「荒立ち稽古」「通し稽古」「最終的なリハーサル」「本番」で構成している。									
【科目の概要】									
卒業制作作品に出演する（他学科制作のアニメ・CG・ゲーム・映像・イベントほかを含む）。									
【到達目標】									
舞台実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの集大成と言える授業となる。自分の人生ではなく他人の人生を生きる難しさと楽しさが理解できるようになる。自分が表現したい演技の矛盾点にも自発的に気がつけるようになる。照明や音響を使い、決められた動きの中で生きた芝居が行えるようになる。発表までの過程を学ぶことで、役作りとは何か、芝居とは何か各々答えを見いだせるようになる。									
【授業の注意点】									
授業態度（特に居眠りや私語）に関してはかなり厳しく対応する。一人ひとりの学生に割り当てられた役が大事な物語構成員であることを理解し授業参加意識の欠落を招かないこと。また、「通し稽古」に入ってから連絡のない遅刻・欠席に関しては配役の変更、降板をすることもある。そして、割り振られた役割分担を責任を持って成し遂げること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することはできない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1				
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力				
到達目標 A	腹式呼吸を完全に習得し、明瞭で感情豊かな発声ができる。	腹式呼吸を使いこなし、安定した声量と適度な抑揚が出せる。	腹式呼吸の基礎を理解し、一定の声量と明瞭さを維持できる。	腹式呼吸を意識するが、不安定で声量や明瞭さに課題が残る。	腹式呼吸が身についておらず、声量や明瞭さが不足している。				
到達目標 B	正確な音程と豊かな表現力で感情を伝える歌唱ができる。	音程が安定し、適切な抑揚で魅力的な歌唱ができる。	音程を概ね正しく保ちながら、一定の表現力で歌える。	音程やリズムにばらつきがあり、表現力が十分でない。	音程が不安定で、リズムや表現力に大きな改善が必要。				
到達目標 C	柔軟で洗練された動きで、感情や状況を的確に表現できる。	安定した身体コントロールで、感情や状況を表現できる。	基本的な動きができ、感情や状況をある程度表現できる。	動きにぎこちなさがあり、感情や状況の表現が不十分。	身体の動きが不安定で、表現力を高める基礎練習が必要。				
到達目標 D	深い役の解釈と独自の工夫で、説得力のある演技ができる。	役の背景を理解し、安定した演技でキャラクターを表現できる。	役の基本的な設定を理解し、自然な演技で表現できる。	役の理解が浅く、演技に説得力や一貫性が欠けている。	役の解釈が不十分で、演技に取り組む姿勢の改善が必要。				
到達目標 E	遅刻・欠席をしない	遅刻はあるが欠席は少ない	遅刻・欠席が少ない	遅刻・欠席が多い	遅刻・欠席が非常に多い				

【教科書】									
事前に公演台本を配布する。レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									
科目名		卒業制作					年度	2025	
英語表記		Graduation production					学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル			評価方法	自己評価
1	顔合せ	出演者、スタッフ顔合わせ準備	演劇制作チーム		演劇制作における各役割の重要性を理解				
			顔合わせの意義		顔合わせの目的と意義の理解				
			演劇制作		演劇制作の準備を理解				
2	読み合わせ稽古	作品の読み合わせ稽古	台本分析と役作り		台本理解と役作り				
			グループでの読み合わせ		グループでの読み合わせの理解				
			読み合わせのフィードバック		読み合わせの改善				
3	読み合わせ稽古	作品の読み合わせ稽古	台本分析と役作り		台本理解と役作り				
			グループでの読み合わせ		グループでの読み合わせの理解				
			読み合わせのフィードバック		読み合わせの改善				
4	読み合わせ稽古	作品の読み合わせ稽古	台本分析と役作り		台本理解と役作り				
			グループでの読み合わせ		グループでの読み合わせの理解				
			読み合わせのフィードバック		読み合わせの改善				
5	荒立ち稽古	荒立ち稽古の実践	荒立ち稽古の目的		荒立ち稽古の目的を理解				
			荒立ちの実践		荒立ちにて演技の理解				
			荒立ちのフィードバック		荒立ちの改善				
6	荒立ち稽古	荒立ち稽古の実践	荒立ち稽古の目的		荒立ち稽古の目的を理解				
			荒立ちの実践		荒立ちにて演技の理解				
			荒立ちのフィードバック		荒立ちの改善				
7	立ち稽古	立ち稽古の実践	立ち稽古の目的		立ち稽古の目的を理解				
			立ち稽古の実践		立ち稽古にて演技の理解				
			立ち稽古のフィードバック		立ち稽古の改善				
8	立ち稽古	立ち稽古の実践	立ち稽古の目的		立ち稽古の目的を理解				
			立ち稽古の実践		立ち稽古にて演技の理解				
			立ち稽古のフィードバック		立ち稽古の改善				
9	立ち稽古	立ち稽古の実践	立ち稽古の目的		立ち稽古の目的を理解				
			立ち稽古の実践		立ち稽古にて演技の理解				
			立ち稽古のフィードバック		立ち稽古の改善				
			立ち稽古の目的		立ち稽古の目的を理解				

